

先進医療

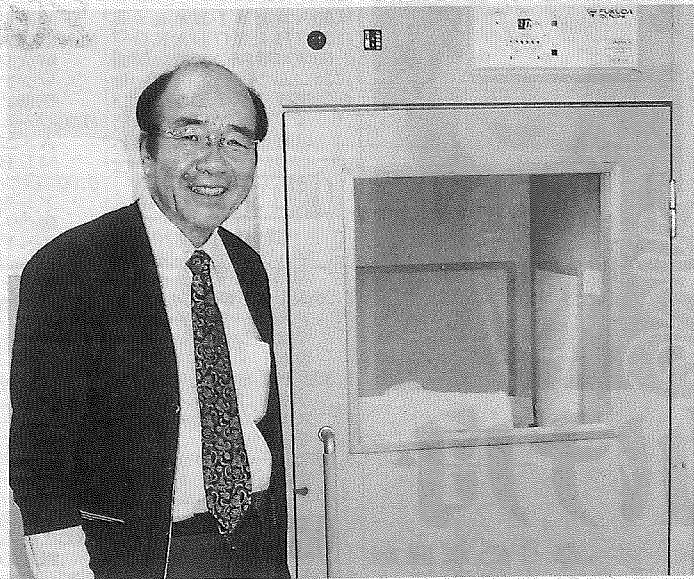
重篤な心臓病を患った余命半年といわれた重篤な患者や、血管が症心不全の患者も、20年を経てなお元気に暮らすという。かつては厳禁とされた行為が、実は有効な治療法であると証明したのが和温療法だ。この治療法を確立した鹿児島大学医学部元教授で和温療法研究所の鄭忠和所長が言う。

「和温とは私の造語で、和む温度で心身を温める」という意味。医療用乾式サウナを使った治療法です。その効果は抜群で、心筋梗塞を2回起こし

和温療法

医療用サウナは室内を60度に設定。患者の全身を15分温める。サウナ室から出た後、さらに

心臓病は医療用サウナで治す



閉塞性動脈硬化症で歩けなかった患者が歩いた

和温療法は、心不全と、心不全の症状ばかりでなく、ほかの難治性疾患の治療にも効果を発揮する。例えば、足指に潰瘍があり、痛みで歩くことが困難な閉塞性動脈硬化症を合併した重症心不全の患者だ。10週間この治療法を施したところ、

「60度の乾式サウナ浴を15分続けると、深部体温は平均1度上昇します。これを1〜2週間繰り返すと、血管の内皮機能が改善され、血管の弾力性が回復し、血

う水分を補給する。60度の乾式サウナ浴を15分続けると、深部体温は平均1度上昇します。これを1〜2週間繰り返すと、血管の内皮機能が改善され、血管の弾力性が回復し、血

和温療法の治療費は1回約1万2000円。これで難治性の疾患が救われるなら、試す価値は大いにあります。